



生徒と保護者の再会

学校では、状況によっては、正式な管理下で保護者が生徒を引き取ることが必要になる場合があります。こうした管理された引き渡しのプロセスを再会と呼び、天候によって、または停電や危険事象の発生によって、あるいは校外での危険の発生や校内での有事の発生によって必要になる場合があります。標準的な再会方法は、このプロセスを全ての関係者にとってより予測しやすく、かつ混乱を招きにくいものにするプロトコルになります。

管理された引き渡しは、通常の授業終了時には行われないため、生徒が通っている学校とは別の場所で再会が行われる場合があります。この場所が別の学校である場合、この生徒たちが同様に管理された引き渡しの対象となる場合があります。

通知

保護者は、複数の方法で通知を受け取ることができます。学校または学区では、電話の一斉連絡またはテキストメッセージシステムを使用する場合があります。場合によっては、生徒が保護者にテキストメッセージを送信するように求められることもあります。生徒からの再会用テキストメッセージは、次のようなものになる可能性があります。「学級閉鎖になったので、3時25分に正門まで迎えに来てください。身分証明書を持ってきてください」

保護者の皆様へのお願い

管理された引き渡しと再会が必要になった旨が通知された場合、保護者の皆様に気を付けていただきたいことがいくつかあります。まず、身分証明書をご持参ください。これにより、再会時の手続きが円滑に進みます。次に、どうか焦らないでください。再会は、生徒の安全を守るとともに、学校から承認された親権者または後見人への確実な身柄引き渡しを行うプロセスです。

保護者が生徒を引き取ることができない場合は、どうすべきか？

保護者が再会場所まで急行できない場合は、生徒の緊急時の引受人として事前に承認された方にのみ、生徒を引き渡します。それ以外の場合は、学校は保護者が生徒を迎えに来るまで、生徒を待機させます。

生徒が自動車で登校した場合は、どうすべきか？

生徒が駐車場から車を移動させることが許可されない場合があります。この場合は、保護者が生徒を保護することを推奨します。状況によっては、高校生が自分たちで下校する可能性もあります。

再会に関する情報 (はっきりとご記入ください)
学区の職員に見せるため写真付き身分証明書を用意しておきます。

生徒名
生徒の学年 生徒の携帯番号

生徒を迎えに来る人の名前
署名
生徒を迎えに来る人の電話番号

迎えに行く生徒との関係

School personnel completes:
Photo identification matches name of person picking up student?
Yes or No

保護者が記入:
生徒名を再度記入 生徒の学年

教師
生徒の生年月日

School personnel completes upon release of student
TIME INITIALS OTHER

再会の方法

待機中、学校は生徒に対して冷静かつ静かに行動するように求めます。生徒は、保護者または後見人にメッセージを送信するように求められる場合があります。また、生徒は校内でも校外でも、そして再会エリアの中でも外でも、他のテキストメッセージを送信しないように求められます。再会時には、モバイルデータ通信ネットワークの使用を最小限に抑えることが重要になる場合があります。

再会カード

保護者の皆様が取るべきステップがいくつかあります。保護者が自動車で学校に来られる場合、交通車両や緊急車両により一層注意することを推奨します。保護者は、指定された場所に駐車し、車両を放置しないでください。保護者は、再会「チェックイン」エリアに向かい、生徒の姓の最初の文字に基づいて列に並ぶように求められます。並んで待つ間、保護者は再会カードへの記入を求められます。このカードには切り取り線が入っており、本プロセスの間に切り離されます。このカードの上部と下部の両方に、同一の情報の一部が繰り返し記載されます。保護者は、カードの全ての項目に記入することを求められます。

再会する生徒が複数いる場合は、生徒ごとに別々のカードに記入する必要があります。

チェックイン時に身分証明書のご持参を

チェックイン時、身分証明書と後見権を確認します。カードを切り離し、下の半券を保護者にお返しします。保護者は「チェックイン」エリアから「再会」エリアへと誘導されます。このエリアでは、カードの下半券を係の者が受け取り、この半券を持って生徒集合エリアに向かい、生徒または複数の生徒を呼び寄せます。場合によっては、詳しい情報を得るために生徒が校内に呼ばれる可能性があることに、保護者は注意してください。

面談とカウンセリング

場合によっては、保護者は法執行捜査の実施について忠告を受けたり、面談が必要であると助言されたりする可能性があります。極端な場合には、保護者が別に呼ばれて、緊急時の情報または医療情報を聞かれることもあります。

